市政トピックス TOPICS

香芝市複合施設整備に関するこれまでの取組



▲香芝市複合施設イメージ図

事業実施に当たっては、国や奈良県からの財政支援の枠組みの拡充が必要であると考えています。

香芝市モナミホール解体後から現在まで

令和4年9月～

老朽化のため令和4年9月に香芝市モナミホールを解体した後、本市には十分な規模のホールがないことから、多くの市民の皆さまや市議会から代替施設の整備を求める強い要望がありました。

そのため、老朽化が進む香芝市中央公民館及び香芝市ふたかみ文化センターを含めて施設を複合化し、公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化事業）を活用することができるよう、令和6年10月に国へ要望書を提出し、11月には奈良県へ要望書を提出するなど、有利な財源活用の可能性を研究してきました。

令和7年8月～

新たな文化活動の中心拠点となる複合施設の整備構想として「香芝市複合施設整備基本構想」を策定し、その後、市民意向調査やヒアリングを実施した上で、香芝市公共施設等総合管理計画の下位に位置する個別施設計画として「香芝市複合施設整備基本計画」を策定しました。



香芝市複合施設整備基本構想（令和7年8月策定）及び香芝市複合施設整備基本計画（令和8年10月策定）

複合施設の整備予定地は、周辺に多くの公共施設が集積する市役所南側駐車場です。複合施設は、約1,000席の音楽ホール、図書館、博物館や貸室などの機能を備えた延床面積約14,500㎡の施設としており、子どもからお年寄りまですべてのかたが安心して過ごすことができる場、生涯学習及び地域活動ができる場、地域の人々の郷土を大切にする思いが込められた場とすることを予定しています。

香芝市複合施設の整備に係る課題など

財政支援の枠組みの拡充を要望

複合施設の整備に係る概算工事費を基本構想及び基本計画で想定していますが、本市にとって大きな財政負担となります。さらに物価高騰が見込まれる昨今の情勢を踏まえると、国や奈良県によるさらなる財政支援がなければ複合施設整備事業を実施することは容易ではありません。

事業の着手は、これらの財政的な諸課題が解決される見通しが立つことを条件として位置付けています。そのため、引き続き、国や奈良県に対して財政支援の枠組みの拡充を要望し続けていきます。





＊基本構想及び基本計画について、詳しくは市ホームページをご確認ください。

◆**問合先** 市役所総務情報課
☎0745−44−3332

市HP→